

平成24年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月30日

上場会社名 スター・マイカ株式会社
 コード番号 3230 URL <http://www.starmica.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水永政志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 日浦正貴

TEL 03-3568-1770

四半期報告書提出予定日 平成24年4月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年11月期第1四半期の連結業績(平成23年12月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年11月期第1四半期	3,171	10.7	407	△19.4	263	△30.4	148	△32.9
23年11月期第1四半期	2,864	△15.2	506	18.5	378	17.2	221	15.0

(注) 包括利益 24年11月期第1四半期 122百万円 (△44.4%) 23年11月期第1四半期 220百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年11月期第1四半期	1,531.88	1,492.77
23年11月期第1四半期	2,669.05	2,502.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年11月期第1四半期	32,115	10,835	30.5	112,389.42
23年11月期	31,284	11,550	33.5	104,893.85

(参考) 自己資本 24年11月期第1四半期 9,802百万円 23年11月期 10,489百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年11月期	—	550.00	—	600.00	1,150.00
24年11月期	—	—	—	—	—
24年11月期(予想)	—	600.00	—	600.00	1,200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,447	3.7	801	△24.6	518	△34.8	285	△36.7	2,855.00
通期	12,912	1.5	1,706	△8.1	1,129	△14.3	624	△15.8	6,242.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年11月期1Q	100,000 株	23年11月期	100,000 株
② 期末自己株式数	24年11月期1Q	12,779 株	23年11月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年11月期1Q	97,145 株	23年11月期1Q	83,039 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による景気の停滞から回復の兆しが見られるものの、欧州諸国に生じた債務危機による金融不安もあり、先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社グループの属する中古マンション業界におきましては、(財)東日本不動産流通機構によると、平成24年2月度の首都圏中古マンションの成約件数は2,919件(前年同月比2.2%減)となり、2カ月連続で前年同月を下回っております。また、首都圏中古マンションの成約㎡単価は首都圏平均で38.66万円(前年同月比3.5%下落、前月比0.3%下落)、成約平均価格は2,526万円(同4.5%下落、同0.3%下落)となり、ともに3カ月ぶりに下落しております。

このような市場環境の中、当社グループは、基幹事業である中古マンション事業の収益力を引き続き強化し、販売、リノベーション等の周辺の事業領域にも収益機会の拡大を図ってまいりました。ニッチ市場である賃貸中の中古マンション物件については、賃料収入が安定的かつ確実な収益源として寄与しております。当第1四半期連結累計期間は、中古マンション事業における売却収入等の増加により、売上高は増加したものの、物件取得に伴う租税公課等が増加し、物件取得に応じた有利子負債の増大に伴い営業外費用が増加したため、営業利益、経常利益及び四半期純利益は前年同四半期に比べ、減少しております。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高3,171,611千円(前年同四半期比10.7%増)、営業利益407,882千円(同19.4%減)、経常利益263,211千円(同30.4%減)、四半期純利益148,814千円(同32.9%減)となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

(中古マンション事業)

中古マンション事業におきましては、売却件数が増加し、売上高が増加したものの、市場環境の変化を受けて利益率が低下したため、営業利益が減少いたしました。この結果、売上高は3,034,235千円(同22.2%増)、営業利益は424,489千円(同12.5%減)となりました。なお、当第1四半期連結累計期間の売上原価に含まれる販売用不動産評価損は2,941千円であります。

(インベストメント事業)

インベストメント事業におきましては、新規投資を再開したものの、保有不動産の売却が一巡したため、売上高及び営業利益が減少いたしました。この結果、売上高は81,982千円(同73.7%減)、営業利益は7,669千円(同78.1%減)となりました。

(アドバイザー事業)

アドバイザー事業におきましては、子会社の仲介業務は引き続き順調に推移したものの、一部の証券化案件の契約が終了したことから、SPC管理報酬等が減少し、売上高及び営業利益が減少いたしました。この結果、売上高は55,393千円(同22.0%減)、営業利益は35,105千円(同26.2%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、830,974千円増加し、32,115,452千円となりました。これは主として、固定資産としての不動産の取得により建物及び構築物が382,297千円、土地が628,998千円増加した一方、販売用不動産の売却等により販売用不動産が150,068千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,546,143千円増加し、21,279,872千円となりました。これは主として、短期借入金が1,344,080千円、長期借入金が1,875,531千円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金1,576,073千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、715,168千円減少し、10,835,579千円となりました。これは主として、利益剰余金が88,814千円増加した一方、自己株式の取得(純資産の減少)により自己株式が750,422千円増加し、さらに少数株主持分が26,929千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月16日に公表しました平成24年11月期の連結業績予想に変更はありません。1ページ「3. 平成24年11月期の連結業績予想(平成23年12月1日～平成24年11月30日)」のとおりであります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

・「1株当たり当期純利益に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業に提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は、2,501円92銭です。

(4) 追加情報

・「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,614,512	2,599,103
営業未収入金	46,773	45,291
販売用不動産	24,190,519	24,040,451
繰延税金資産	47,757	24,555
その他	229,752	229,100
貸倒引当金	△11,374	△9,606
流動資産合計	27,117,941	26,928,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,186,107	1,591,517
減価償却累計額	△444,042	△467,155
建物及び構築物（純額）	742,064	1,124,362
土地	2,024,546	2,653,544
その他	68,418	42,418
減価償却累計額	△30,972	△31,998
その他（純額）	37,446	10,419
有形固定資産合計	2,804,057	3,788,326
無形固定資産	9,754	14,320
投資その他の資産		
投資有価証券	1,090,000	1,090,000
繰延税金資産	20,343	37,976
その他	242,380	255,933
投資その他の資産合計	1,352,723	1,383,909
固定資産合計	4,166,535	5,186,557
資産合計	31,284,477	32,115,452

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年2月29日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	143,991	135,471
短期借入金	2,556,840	3,900,920
1年内返済予定の長期借入金	4,996,127	3,420,054
未払法人税等	214,981	83,366
その他	564,997	558,419
流動負債合計	8,476,937	8,098,231
固定負債		
長期借入金	11,224,587	13,100,118
その他	32,204	81,522
固定負債合計	11,256,791	13,181,640
負債合計	19,733,729	21,279,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,573,038	3,573,038
資本剰余金	3,541,478	3,541,478
利益剰余金	3,374,867	3,463,682
自己株式	—	△750,422
株主資本合計	10,489,385	9,827,777
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	—	△25,060
その他の包括利益累計額合計	—	△25,060
新株予約権	41,651	40,080
少数株主持分	1,019,711	992,782
純資産合計	11,550,748	10,835,579
負債純資産合計	31,284,477	32,115,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
売上高	2,864,603	3,171,611
売上原価	2,099,704	2,475,321
売上総利益	764,899	696,290
販売費及び一般管理費	258,882	288,407
営業利益	506,016	407,882
営業外収益		
受取利息	226	311
償却債権取立益	—	2,033
その他	0	0
営業外収益合計	227	2,345
営業外費用		
支払利息	93,426	106,890
支払手数料	34,107	40,126
その他	514	—
営業外費用合計	128,048	147,017
経常利益	378,195	263,211
税金等調整前四半期純利益	378,195	263,211
法人税、住民税及び事業税	133,069	96,200
法人税等調整額	24,741	19,446
法人税等合計	157,811	115,647
少数株主損益調整前四半期純利益	220,383	147,563
少数株主損失(△)	△1,251	△1,251
四半期純利益	221,635	148,814

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)
少数株主損益調整前四半期純利益	220,383	147,563
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△25,060
その他の包括利益合計	—	△25,060
四半期包括利益	220,383	122,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221,635	123,754
少数株主に係る四半期包括利益	△1,251	△1,251

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年12月1日 至平成23年2月28日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	中古マンション事業	インベストメント事業	アドバイザー事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	2,482,032	311,528	71,042	2,864,603	—	2,864,603
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	41,738	41,738	△41,738	—
計	2,482,032	311,528	112,780	2,906,342	△41,738	2,864,603
セグメント利益	485,292	35,049	47,559	567,901	△61,884	506,016

(注) 1. セグメント利益の調整額△61,884千円は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年12月1日 至平成24年2月29日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	中古マンション事業	インベストメント事業	アドバイザー事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	3,034,235	81,982	55,393	3,171,611	—	3,171,611
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	55,890	55,890	△55,890	—
計	3,034,235	81,982	111,284	3,227,502	△55,890	3,171,611
セグメント利益	424,489	7,669	35,105	467,263	△59,380	407,882

(注) 1. セグメント利益の調整額△59,380千円は、各報告セグメントに配分していない販売費及び一般管理費の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第1四半期連結会計期間において、平成24年1月16日及び平成24年2月9日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この自己株式の取得により、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が△750,422千円となりました。